



令和8年10月13日

各 位

会 社 名 アクサスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久岡 卓司
(東証スタンダード市場・コード3536)
問合せ先 取締役経営管理部長 新藤 達也
(TEL. 078-891-3700)

法人税等調整額の計上及び令和8年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和8年10月13日開催の取締役会において、令和7年8月期決算短信発表時（令和7年10月14日）に公表した令和8年8月期通期（令和7年9月1日～令和8年8月31日）の連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また令和8年8月期（令和7年9月1日～令和8年8月31日）において、法人税等調整額の計上を行うこととなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

令和8年8月期の通期連結業績及び今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、課税所得の計上による繰越欠損金の解消に伴い法人税等調整額（損）を100百万円計上し、令和8年8月期通期累計期間において法人税等調整額（損）を101百万円計上する見込みとなりました。

2. 令和8年8月期通期の連結業績予想数値の修正（令和7年9月1日～令和8年8月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 13,172	百万円 432	百万円 283	百万円 250	円 銭 8.24
今回修正予想(B)	12,628	224	5	43	1.45
増減額(B-A)	△544	△208	△277	△206	
増減率(%)	△4.1	△48.2	△98.0	△82.5	
(ご参考)前期実績 (令和7年8月期)	12,134	164	3	221	7.30

(修正の理由)

令和8年8月期においては、売上高につきましては、雇用、所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しやAI 関連投資の拡大等により景気は緩やかな回復基調にあるものの、為替市場の円安の長期化や原材料、資源価格の高騰等により生活必需品の値上げが相次ぐ等、消費者の体感インフレが高まった影響等により、前回業績予想と比較して売上高の減少が見込まれております。

利益面につきましては、小売事業において、首都圏、京阪神、九州エリアへの新規出店や品揃えを充実させるリニューアルを実施した店舗を中心に販売が好調に推移しましたが、仕入コストの増加により売上総利益は減少しました。輸入卸売事業においては、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要が堅調に推移し、空港免税店や観光地向けの販売が好調だったことに加え、ハイボール需要の拡大を背景として、一般家庭向けの低価格ウイスキーの販売が伸長したことにより、全国のスーパーマーケット等への導入が進み売上が拡大しました。また六甲山蒸溜所においては、自社蒸溜・熟成した限定シングルモルトウイスキーを継続して発売した他、ブランド認知度の向上及びファン層拡大を目的として、国内外の展示会やイベントへの

出展や百貨店での催事、空港免税店での試飲販売会等の販促活動を積極的に実施した結果、売上総利益は増加しました。不動産事業においては、一部販売用不動産について、簿価額を十分に上回る額で売却を実施したことにより売上総利益は増加しました。

営業利益につきましては、人件費を中心とした販売管理費の上昇等の影響により、前回業績予想と比較して営業利益の減少が見込まれるため下方修正いたします。

経常利益につきましては、上述の営業利益の減少が見込まれることや日銀金融政策の見直しによる金融コストの増加等により、前回業績予想と比較して経常利益の減少が見込まれるため下方修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益に不動産売却に伴う不動産売却益の計上はあるものの、上述の販売管理費の上昇及び金融コストの増加に加え、繰延税金資産の一部を取り崩した為、前回業績予想と比較して親会社株主に帰属する当期純利益の減少が見込まれております。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上